

評価結果の反映状況（平成 29 年度）

長岡市公立大学法人評価委員会からの指摘事項への取組について

公立大学法人長岡造形大学は、平成 28 年度業務実績について長岡市公立大学法人評価委員会からいただいた指摘事項に対し、以下のとおり取り組みました。

平成28年度の長岡市公立大学法人評価委員会からの課題・改善すべき点に関する意見

「国際交流に関する目標を達成するための措置」では、年度計画の事業数を増加させるとともに、教育研究の質の向上を目指すために双方向で学生の交流を行うなど、一段と高い目標設定を検討されたい。

「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置」のうち、人事考課制度の導入について、評価手法や評価基準の設定など具体的な検討に取り組まれたい。

「その他業務運営に関する目標を達成するための措置」のうち、危機管理マニュアルの整備について、地震や水害などの大規模災害の発生に備えて早期に策定されたい。また、マニュアルの策定に当たっては、地域住民の安全確保についても配慮した内容となるよう検討されたい。

○ 平成29年度の取組状況

・ 「国際交流に関する目標を達成するための措置」について

双方向の学生交流について、主に英国ノリッチ芸術大学及び米国ハワイ大学との交流事業を実施した。

ノリッチ芸術大学との交流事業では、両大学で視覚デザイン分野に係るテーマの課題制作を行い、その成果を平成30年2月23日から3月3日にノリッチ市内にて合同展示を実施した。展示のオープニングには、本学教員2人及び学生5人が参加し、制作した作品の説明を行う等、学生交流を行った。

ハワイ大学との交流事業においては、平成30年2月13日から16日に本学で、平成30年2月21日から24日にハワイ大学で、本学学生8人、ハワイ大学学生5人が参加する共同ワークショップ「ピースメモリアルワークショップ」を実施した。

漢陽大学とは、平成29年8月6日から22日に漢陽大学が主催・運営するサマースクールに本学学生3人が参加し、韓国語及び韓国文化の学習を通じての交流を行った。

・ 人事考課制度の導入について

人事考課制度の導入について、現状把握及び他大学の先進事例の確認を行い、教員の評価制度及び事務職員の評価制度の2つの制度を構築すること並びにその制度の概要を決定した。

教員のための制度については検討チームによる詳細内容の検討を開始し、事務職員のための制度については、実施案の作成を行った。なお、事務職員のための制度については、平成30年度から組織の一部にて試行を開始する予定である。

- ・ **危機管理マニュアルの整備について**

危機管理マニュアルの整備については、震災発生時及び水害発生時の詳細行動マニュアルを整備した。

また、震災対策については、平成29年9月13日に学生、教職員を含む全学的な避難訓練を実施し、作成したマニュアルに基づき災害発生時の行動確認を行った。水害対策については、平成29年10月29日に大学周辺地域の蓮潟町内会と合同で、水害を想定し本学に地域住民の方が避難を行う訓練を行った。